

建設会社
トップに聞く



基礎から教えるマイホーム

絶対得する業界の常識

↑ vol.33

「T様邸建築取材VOL.5」

今回で5回目のT様邸の建築取材となります。
今回は来月引き渡しに向け、完成目前のT様邸の
模様を取材してきましたので、ご紹介いたします。

■「がつり」とした作り

T様邸は1階部分が鉄骨造、2階部分は木造と
いう特殊な設計です。バランスを保つのがとても
難しい構造でもあります。基礎から組み立てま
で一切妥協しない工事が行われました。

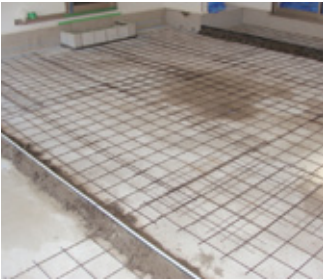
■まずは1階部分

床の部分はまだ
鉄筋がむき出しの
状態。しかし、その
下にはすでにしっ
かりとしたコンク
リート床がありま
した。



しっかりとした鉄骨で建物を支えます。

これは一度仕上
げたコンクリート
床の上にさらに鉄
筋を組み、またコ
ンクリートを流し
込む直前の状態。
やがては目に見え
ることのない施工
にさえ、妥協しな
い仕事にはあらた
めて感心します。



コンクリートの床

■シンプルながら生活しやすいそんな2階

居住区である2階。間取りは2LDK。階段を上
り、廊下からリビングと、グルッとまわれる動線を
確保し無駄を省いています。そして、部屋以外にも
ウォークインクローゼットや収納など、わずかなス
ペースも有効活用されています。

また廊下や階段も一般的には78cmの所92cmとし
生活上、窮屈
感を感じない
ように設計。

その他いた
るところで、
前回紹介した
S様邸同様、
住む人使う人
の気持ちかを考
えて作られて
いる住まいで
あることを実
感しました。



養生シートが外れ、間もなく完成を迎えるT様邸



扉を開けて広々としたリビング。流行りのカウンター付きキッチンを採用天井には「木」を感じられるようあえて柱を剥き出しに。

湯浅建設さんによる

今月竣工の工事

養護老人ホーム 親愛荘 新築工事



建築面積 / 470.94㎡
延床面積 / 895.21㎡
最高高さ / 7.49m
鉄骨造 / 地上2階建て



湯浅建設さんはいかかわらずの丁寧な仕事をな
されてきました。「自分も住むならこういいうしっか
りと作られた家がいいな」と思う今日この頃。
打ち合わせ後に湯浅社長に業界の今後の傾向
を聞いてみました。
今世間では「景気回復の実感がない」とも言わ
れていますが、実際には高級マンションが即完売し
たり、アベノミクスの施策で「公共労働単価」も上
昇して、住宅価格も2020年に向けて上がって
いくと考えられるそうです。
では、その後は下がるのかというと、それもな
いだろうと。不景気の最中、業界全体で労働者の人
件費を下げ、各企業がなんとかやってきましたが、
結果的に現在の人手不足を招きました。
この結果に業界全体が過去の方策を後悔してい
るそうです。従って、今後も当たり前のモノが当た
り前の価格で販売されていくと予想されているそ
うです。
だから、人生で一度のマイホームですから安価な
価格だけで選ぶのではなく、価格に見合った、しっ
かりとした家を選ぶ・作るという時代が来ている
のだと思います。

取材協力 株式会社湯浅建設 湯浅健司社長

完全注文住宅建築事例

地域に根差した総合建設業を目指して創業60年

一貫誠実

株式会社湯浅建設

千葉県知事 登録 第1-1203-7620号 / 千葉県知事許可(特-22)第1298号

湯浅建設 検索

月刊ハロー！取材記事のバックナンバーも掲載中！

お見積もり無料!
お気軽にお問い合わせ下さい!

TEL.047-387-2281 (代表)

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-25
http://www.yuasakensetu.co.jp/

リフォーム事例

Before

After

CONSTRUCTION